

# 林野庁の国有林伐採作業による戦国古道の破壊が進んでいます！

2015年2月16日 八王子城 1000人隊

滝ノ沢林道上部には、八王子城要害部（馬冷し場）から始まる、陣馬山（西上水平道 / 陣場軍道）・滝ノ沢左岸陣地（西上水平道）・青龍寺谷左岸陣地（滝の上大水平道）へと繋がる戦国古道を確認しています。

林野庁・関東森林管理局（東京神奈川森林管理署 / 平塚）の計画により、3年ほど前より滝ノ沢地区の国有林の伐採が進められていますが、これらの古道のほとんどは、国史指定地域より外れており（※1）、林野庁が遺構の存在を配慮せずに伐採作業を行なっています。

昨年より伐採方法が変更になり、斜面に使い捨ての林道を標高50m毎に掘削して材木を切り出す作業方法が行われています。これにより、陣馬軍道の2個所で大規模な古道の破壊が確認され、また切り捨てられた杉が古道を塞ぎ、通行に支障が出ています。今後も更に破壊される可能性があり（※2）、早急な対応が必要です。

現在、林野庁に苦情を伝えると共に、文化庁に対応を依頼しています。

※1：現在国史指定されているのは、八王子城の総縄張りの面積の10%に過ぎません。

※2：昭和時代の滝ノ沢林道の造成時に、既に大規模な古道の上書き破壊が行われています。



古道上に折り重なる伐採放置杉  
2014.12.03



下から伸びる使い捨て林道が古道(左上)まで達し上書き破壊  
2014.12.03



古道を横切る形で作られた使い捨て林道が崩落しかける危険地帯  
2014.12.03

